



**KOJIMA** Co.,Ltd.

**第42期 中間事業報告書**

**2004.9** 平成16年4月 1日から  
平成16年9月30日まで

**客 世界への挑戦**



<http://www.kojima.net>

## 株主の皆さまへ

「『地域一番店』の集合体・コジマ」確立に向けて、  
収益体質の強化・改善を推進しています。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第42期中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今後の経済見通しは、景気回復にやや明るい兆しが見られるものの、原油高騰の影響や米国経済の先行き不透明感もあって、予断を許さない状況が続くものと思われます。当家電販売業界にあってはデジタル関連商品の需要拡大が期待される面はあるものの、企業間競争はさらに厳しさを増していくことが予想されます。

こうした中、引き続き大型店の出店を実施する一方で店舗の統廃合を推進し、販売力と収益力の向上を図るべく、既存店の活性化策の実施や人員の効率運営、効率的な物流と在庫の実現、経費の見直しを行っていく所存であります。

当グループは、中期的な経営戦略に沿って収益構造改革の枠組み作りを終え、現在その定着から実現へ向けた取り組みを行っております。

具体的には、全国5箇所の物流センターの設置や需要予測型自動発注システムの導入による発注業務と物流の効率化並びに在庫の効率化、管理者への成果主義の導入やパート比率の引き上げを目指した人事体制の変更、また販売面ではお客様との関係強化を狙った「コジマお客様カード」の発行、出店政策面では効率的な店舗網構築のための統廃合の推進を行ってまいりました。今後につきましては、こうした諸政策が一層効果的になるよう取り組むとともに、人材教育による接客力と新製品比率の向上を目指すことで、さらなる販売力の強化を図っていく所存であります。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成16年12月



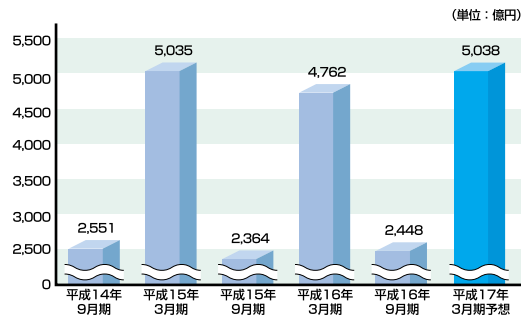
代表取締役社長 小島章利

## 業績の推移

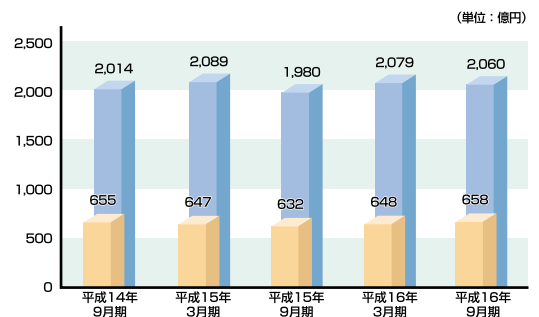
(単位：百万円)

区分	平成15年3月期 (平成14年4月1日 ～平成15年3月31日)	平成15年9月期 (平成15年4月1日 ～平成15年9月30日)	平成16年3月期 (平成15年4月1日 ～平成16年3月31日)	平成16年9月期 (平成16年4月1日 ～平成16年9月30日)
売上高	503,458	236,426	476,156	244,790
経常利益	2,165	1,073	3,141	2,919
当期純利益	255	△1,351	492	1,401
1株あたり当期純利益	6.56円	△34.74円	12.65円	36.02円
総資産	208,897	198,029	207,904	205,986
株主資本	64,739	63,239	64,804	65,810

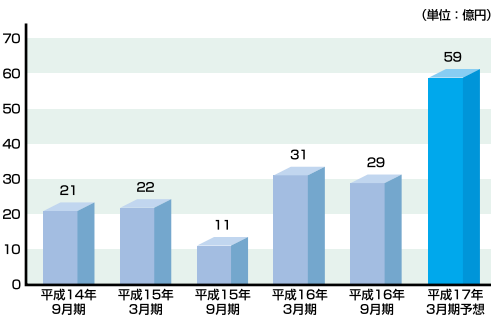
## 売上高の推移



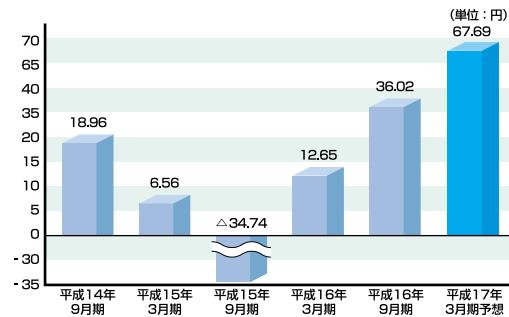
## 総資産・株主資本の推移



## 経常利益の推移



## 1株あたり当期純利益の推移



### 平成16年度中間期の市場動向と当社の取り組み

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業収益改善による設備投資の拡大と輸出の好調に牽引され、回復局面が続きました。個人消費も消費マインドの好転で底堅く推移し、前半はデフレ脱却期待が高まる場面もあったものの、後半は海外経済の成長低下やIT関連財の在庫調整で回復テンポの鈍化を示す指標が増え、原油価格高騰の影響が懸念されるなか、景気は安定成長に向け巡航速度を探る段階を迎えました。

当家電販売業界は、アテネ・オリンピック開催のイベント効果もあって薄型テレビやDVDレコーダー等のデジタル家電が大きく伸長し、またエアコンも猛暑の

影響で好調に推移いたしました。一方、パソコンは競争激化と単価ダウンで全般的に低調な推移を辿りました。

このような環境下において、当社ではタイムリーに商品情報や内部連絡等が行える情報端末機器を店頭販売員に携帯させることで適宜適切な接客ができるよう販売面の強化を図り、需要予測型自動発注システムの活用による在庫の効率化や店舗オペレーションの改善による人員の抑制、パート比率の向上を推進するなど、収益体質の強化に取り組みました。また、積極的に店舗統廃合も実施いたしました。

**今期売上高は2,447億90百万円（前期比3.5%増）  
経常利益は29億19百万円（同172.0%増）となりました。**

当中間連結会計期間における売上高は2,447億90百万円（前期比3.5%増）経常利益は29億19百万円（同172.0%増）当期純利益は14億1百万円（同27億53百万円の増）となりました。

引き続き経営資源の強化構築に邁進し、収益力の向上

を図る諸施策を実施することによって、平成17年3月期（平成16年度）の業績につきましては、売上高5,038億円（前期比5.8%増）経常利益59億円（同87.8%増）当期純利益26億34百万円（同435.4%増）を見込んでおります。

## 「地域一番店の集合体・コジマ」を確立する戦略の今期実績



総資本経常利益率  
**9%**達成へ

地域一番店の集合体・コジマ  
の確立

当社は、収益率の向上を目指し、資本の効率性を高めるよう、具体的な取り組みを続けてまいりました。各経営資源を強化構築する諸施策を実施し、販管費の圧縮や利益率の改善に向けて大きく前進しております。

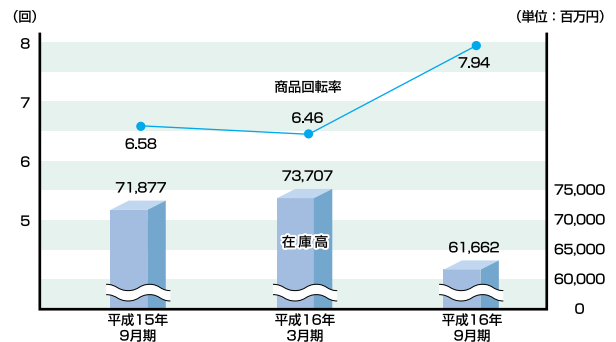
### 好調な売上と在庫高の削減により、 商品回転率がアップ

在庫の大幅な削減を実現したことにより、前年同期と比べて商品回転率が高まりました。需要予測型自動発注システムの本格稼働、一括物流センターの活用による物流コストの削減が、功を奏しています。

今後も計画仕入を推進するとともに、新製品や売れ筋商品への入れ替え（旧型商品の処分）を積極的に行い、効率を高めてまいります。

平成15年9月期並びに平成16年9月期は年率換算しております。商品回転率は、期末在庫高をベースにしております。

### 在庫高と商品回転率（年率換算）の推移



# 決算（連結）のご報告

## 【中間連結貸借対照表】

資産の部	平成15年度中間期	平成16年度中間期
	(平成15年9月30日現在)	(平成16年9月30日現在)
<b>流動資産</b>	<b>101,479</b>	<b>107,299</b>
現金及び預金	16,027	24,937
受取手形及び売掛金	6,183	7,064
有価証券	5	6,000
たな卸資産	71,877	61,662
繰延税金資産	445	1,022
その他	7,007	6,710
貸倒引当金	66	96
<b>固定資産</b>	<b>96,549</b>	<b>98,686</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>69,129</b>	<b>70,720</b>
建物及び構築物	72,359	77,454
減価償却累計額	25,256	28,532
土地	17,270	18,626
建設仮勘定	1,611	389
その他	6,706	6,909
減価償却累計額	3,562	4,126
<b>無形固定資産</b>	<b>702</b>	<b>815</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>26,717</b>	<b>27,150</b>
投資有価証券	1,177	752
長期差入保証金	21,797	21,721
繰延税金資産	255	768
その他	3,534	3,954
貸倒引当金	47	46
<b>資産合計</b>	<b>198,029</b>	<b>205,986</b>

(単位:百万円)

負債の部	平成15年度中間期	平成16年度中間期
	(平成15年9月30日現在)	(平成16年9月30日現在)
<b>流動負債</b>	<b>64,548</b>	<b>76,474</b>
買掛金	37,752	32,758
1年以内返済予定長期借入金	17,859	21,810
1年以内償還予定の社債	200	200
1年以内償還予定の転換社債	-	10,000
未払法人税等	110	1,581
未払事業所税	121	138
未払消費税等	694	1,099
その他	7,810	8,886
<b>固定負債</b>	<b>70,241</b>	<b>63,701</b>
社債	600	400
転換社債	10,000	-
新株予約権付社債	-	6,000
長期借入金	58,114	54,676
ポイント引当金	323	1,181
退職給付引当金	37	36
役員退職慰労引当金	181	209
その他	985	1,197
<b>負債合計</b>	<b>134,790</b>	<b>140,176</b>

## 少数株主持分

少数株主持分	-	-
--------	---	---

## 資本の部

資本金	18,914	18,914
資本剰余金	20,938	20,938
利益剰余金	23,267	25,871
その他有価証券評価差額金	119	86
自己株式	0	0
<b>資本合計</b>	<b>63,239</b>	<b>65,810</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>198,029</b>	<b>205,986</b>

# 中間期決算報告（連結）

## 【中間連結損益計算書】

（単位：百万円）

	平成15年度中間期 <small>（平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで）</small>	平成16年度中間期 <small>（平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで）</small>
売上高	236,426	244,790
売上原価	198,159	204,730
売上総利益	38,267	40,059
販売費及び一般管理費	41,915	41,404
営業損失	3,648	1,345
営業外収益	5,401	4,979
受取利息	48	53
受取配当金	5	2
販促協賛金	5,256	4,813
その他	91	110
営業外費用	679	714
支払利息	558	579
その他	120	135
経常利益	1,073	2,919
特別利益	42	5
投資有価証券売却益	42	-
貸倒引当金戻入額	-	5
特別損失	1,436	266
投資有価証券評価損	1,122	9
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	70	227
役員退職慰勞引当金繰入額	8	-
退店関連損失	-	29
過年度社会保険料	233	-
税金等調整前中間純利益 又は中間純損失( )	320	2,658
法人税、住民税及び事業税	171	1,434
法人税等調整額	859	178
中間純利益又は中間純損失( )	1,351	1,401

### 売上高

2,448 億円

前期比 3.5%増

### 経常利益

29 億円

前期比 172.0%増

### 当中間期純利益

14 億円

前期比 28億円増

### 新株予約権付社債の発行総額

60 億円

2004年8月9日（スイス時間）、「2009年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債」を、総額60億円、発行いたしました。

# 中間期決算報告（連結）

## 【連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	平成15年9月期	平成16年9月期	増減
	(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)	(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)	(増減)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前中間純利益又は中間純損失（ ）	320	2,658	2,978
減価償却費	2,291	2,347	56
役員退職慰労引当金の増減額	1,284	6	1,290
退職給付引当金の増減額	0	1	1
ポイント引当金の増加額	323	348	25
貸倒引当金の増減額	48	5	53
受取利息及び配当金	54	55	1
支払利息	558	579	21
為替差損益	2	2	4
投資有価証券売却益	42	-	42
投資有価証券評価損	1,122	9	1,113
固定資産売却損	1	0	1
固定資産除却損	70	227	157
売上債権の増減額	5,128	396	4,732
たな卸資産の増減額	2,096	12,045	9,949
仕入債務の増減額	5,386	9,397	4,011
その他	2,836	319	2,517
小計	1,717	8,841	7,124
利息及び配当金の受取額	73	58	15
利息の支払額	455	572	117
法人税等の支払額	592	663	71
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>742</b>	<b>7,664</b>	<b>6,922</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	28	-	28
定期預金の払戻による収入	33	23	10
投資有価証券の取得による支出	1	5	4
投資有価証券の売却による収入	90	-	90
有形固定資産の取得による支出	4,535	2,533	2,002
有形固定資産の除却による支出	18	35	17
有形固定資産の売却による収入	0	0	0
無形固定資産の取得による支出	62	43	19
その他の投資等の増減額	323	100	423
その他	32	77	45
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,811</b>	<b>2,415</b>	<b>2,396</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金純増減額	11,000	-	11,000
長期借入れによる収入	20,000	10,000	10,000
長期借入金の返済による支出	8,593	9,684	1,091
新株予約権付社債の発行による収入	-	6,000	6,000
社債の償還による支出	100	100	-
配当金の支払額	387	388	1
その他	-	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>81</b>	<b>5,827</b>	<b>5,908</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2	4
現金及び現金同等物の増減額	4,153	11,078	15,231
現金及び現金同等物の期首残高	20,151	19,858	293
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	15,998	30,937	14,939

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

77 億円

前期比 70億円増

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

24 億円

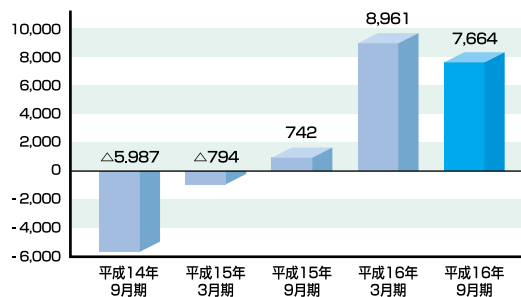
前期比 24億円増

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

58 億円

前期比 59億円増

### 営業活動によるキャッシュ・フローの推移（単位：百万円）





# 中間期決算報告（連結）

## < 連結子会社について >

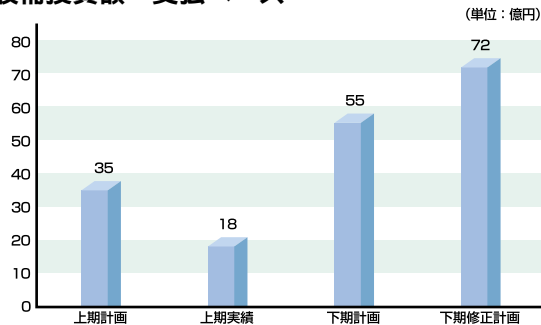
当企業集団は、当社（連結財務諸表提出会社）株式会社アビア（連結子会社）、有限会社ケーケーワイ（非連結子会社で持分法非適用会社）および有限会社サンデースマイル（非連結子会社で持分法非適用会社）から構成されており、当社が家庭用電化製品の販売を、株式会社アビアが結婚式や各種会議のための会場の運営、旅行業、不動産の賃貸、生命保険の募集、広告代理業等の総合サービス業を、有限会社サンデースマイルが損害保険代理業を主な事業として行っております。

## 長期展望に基づく新規大型店舗の出店

# 90 億円

平成16年度に予定の設備投資計画数値です。上期に2店舗を新設し、下期には11店舗を計画しております。その売場面積は平均3,000㎡であり、好立地による高効率の店舗網拡充を目指しております。

## 設備投資額—支払ベース—



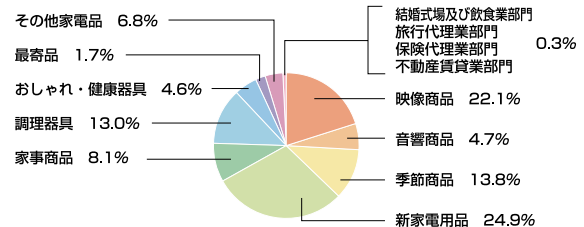
## 当期の営業状況 — 商品の動向 —

部門別の売上高は、家電品部門では売上高2,440億200万円（前期比3.4%増）となりました。その内訳といたしまして、映像商品が539億9700万円（同22.5%増）、音響商品が115億7700万円（同7.1%減）、季節商品が336億6700万円（同8.8%増）、新家電商品が609億8700万円（同10.2%減）、家事商品が198億4400万円（同1.8%減）、調理器具が319億2000万円（同0.4%減）、おしゃれ・健康器具が112億7900万円（同5.9%減）、最寄品が40億8400万円（同10.1%減）、その他が166億6200万円（同41.6%増）となりました。

また、結婚式場および飲食業部門およびその他部門を合計した売上高は7億6900万円（同48.2%増）となりました。

## 各商品・部門の売上状況と構成比

映像商品	= 53,997 (単位は百万円)	122.5% (前年同期比)
音響商品	= 11,577	92.9%
季節商品	= 33,667	108.8%
新家電用品	= 60,987	89.8%
家事商品	= 19,844	98.2%
調理器具	= 31,920	99.6%
おしゃれ・健康器具	= 11,279	94.1%
最寄品	= 4,084	89.9%
その他家電品	= 16,662	141.6%
結婚式場及び飲食業部門	= 280	102.2%
旅行代理業部門	= 47	86.9%
保険代理業部門	= 13	93.2%
不動産賃貸業部門	= 427	243.8%



# 決算（単体）のご報告

## 【中間貸借対照表】

（単位：百万円）

資産の部	第41期(中間)	第42期(中間)
	(平成15年9月30日現在)	(平成16年9月30日現在)
流動資産	102,000	107,053
現金及び預金	15,970	24,677
受取手形	136	192
売掛金	6,017	6,824
有価証券	5	6,000
たな卸資産	71,857	61,636
繰延税金資産	444	1,022
その他	7,630	6,792
貸倒引当金	63	92
固定資産	96,359	98,742
有形固定資産	68,163	69,594
建物	43,800	45,504
土地	17,166	18,522
その他	7,196	5,567
無形固定資産	688	801
投資その他の資産	27,507	28,346
投資有価証券	1,177	752
長期差入保証金	21,749	21,670
繰延税金資産	230	744
その他	4,397	5,224
貸倒引当金	47	46
資産合計	198,359	205,796

（単位：百万円）

負債の部	第41期(中間)	第42期(中間)
	(平成15年9月30日現在)	(平成16年9月30日現在)
流動負債	64,416	75,576
買掛金	37,728	32,739
1年以内返済予定長期借入金	17,856	21,804
1年以内償還予定の社債	200	200
1年以内償還予定の転換社債	-	10,000
未払法人税等	107	1,580
その他	8,523	9,252
固定負債	70,164	63,638
社債	600	400
転換社債	10,000	-
新株予約権付社債	-	6,000
長期借入金	58,095	54,665
ポイント引当金	323	1,181
役員退職慰労引当金	165	193
その他	980	1,197
負債合計	134,581	139,214
<b>資本の部</b>		
資本金	18,914	18,914
資本剰余金	20,938	20,938
資本準備金	20,938	20,938
利益剰余金	23,806	26,642
利益準備金	670	670
任意積立金	24,000	24,000
中間未処分利益又は 中間未処理損失( )	863	1,972
その他有価証券評価差額金	119	86
自己株式	0	0
資本合計	63,777	66,581
負債及び資本合計	198,359	205,796

## 中間期決算報告（単体）

### 【中間損益計算書】

（単位：百万円）

経常損益の部	第41期(中間) <small>(平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)</small>	第42期(中間) <small>(平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)</small>
売上高	236,094	244,455
売上原価	197,941	204,490
売上総利益	38,152	39,965
販売費及び一般管理費	41,707	41,203
営業損失	3,554	1,238
営業外収益	5,410	4,987
営業外費用	680	716
経常利益	1,174	3,032
特別利益	42	5
特別損失	1,435	266
税引前中間純利益又は 中間純損失( )	219	2,772
法人税、住民税及び事業税	167	1,434
法人税等調整額	860	178
中間純利益又は中間純損失( )	1,246	1,515
前期繰越利益	382	456
中間未処分利益又は中間未処理損失( )	863	1,972

### 一株あたりの株主配当金

# 6.50 円

当中間期の中間配当金は6.50円。前年同期と同額です。年間配当金は16.50円を予定しております。

### 当期の営業状況－店舗の動向－

店舗政策といたしましては、新店舗として愛媛県松山市のNEW松山店をはじめとする計2店舗を開設し、また、新潟県新潟市の桜木店をはじめとする計16店舗を閉店したことから、当中間連結会計期間での店舗数は233店舗となりました。

### 平成16年10月から平成17年3月までの新規店舗開店予定

関東に7店舗、中部・東海地区に2店舗、関西に1店舗、中国・四国地区に1店舗、計11店舗の出店を計画しております。

## コジマレポート

# KID'S 夢のスポーツふれあいDay



「コジマお客様カード」発行1周年記念特別企画として、全国各地でスポーツイベントを開催しました。有名スポーツ選手による、ゲームを取り入れた楽しい指導とトークに、会場には子どもたちの笑顔があふれました。



### 憧れの有名スポーツ選手と直接ふれあう機会を提供

8月から10月にかけて、小・中学生を対象とする参加無料のスポーツイベント「KID'S 夢のスポーツふれあいDAY」を実施しました。講師に迎えたのは、有森裕子（ランニング）、長谷川健太（サッカー）、保坂信之（サッカー・フットサル）、駒田徳広（野球）、川合俊一（バレーボール）、大林素子（バレーボール）など、各競技の第一線で活躍した、日本を代表する14名以上ものトップアスリートたち。店頭で配布した応募ハガキ、ホームページ（[kojima.net](http://kojima.net)）、フリーダイヤルを通じて多数のお申し込みをいただき、宮城、宇都宮、東京、神奈川、千葉、埼玉、静岡、名古屋、大阪、神戸の全国10会場で、総勢2,500名のお客様にご参加いただきました。

### トップアスリートの見事な技に、目を輝かせる子どもたち

このイベントの特徴は、技術向上を目的とした単なるスポーツ教室ではなく、初心者子どもたちがスポーツの楽しさにふれることを重視した点です。当日、子供たちは各会場で元気いっぱい野球、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、バレーボールな



どの球技やランニングを楽しみ、有名スポーツ選手と夢の一日を過ごしました。なかでも、保坂信之氏による、サッカーボールを頭や足でリフティングしながらハシゴを器用に上り下りするといったアクロバティックな妙技には、子どもたちのみならず、保護者の方々からも感嘆の声が上がりました。多くの子どもたち、そしてご参加いただいた家族が共有する、貴重な体験となったようです。

### 当社がイベントに取り組む意義と、今後の展開について

「KID'S 夢のスポーツふれあいDAY」は、「コジマお客様カード」の認知度アップと販促、囲い込みのひとつの手段として企画しました。家電販売以外の部分でのサービスとして、当社が初めて大々的に取り組んだイベントです。ちょうどオリンピックの開催時期とも重なったため、スポーツに注目が集まる中で行われました。子どもたちにスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、スポーツを通して家族のふれあいの場となることを第一に考えました。会場で配ったアンケートでも、「とても楽しかった」「次回もぜひ参加したい」などと喜びの声が多数寄せられ、好評を博しました。

「地域一番店の集集体・コジマ」を目指す当社としては、顧客サービスの一環として、各地域の皆さまに喜んで参加していただけるイベントを、今後もなるべく多くの地域で開催できるよう検討していきます。

## 充実の品揃えと、ますます広がるサービスで お客様の期待に応え続けています

### 全店に法人向け営業カウンターを設置

コジマ全店に、法人向け営業カウンター「コジマオフィスソリューションカウンター」を設置しました。全国の店舗・配送ネットワークを活かし、迅速な配送サービスによって、オフィスの快適空間づくりをサポートします。またOAや家事関連のオフィス家電はもちろん、景品やプレゼントの用途（のし・包装つき）にも対応しています。経費削減の折、需要の多い、省エネで電気代を大幅にカットする、店舗やオフィス向け業務用エアコンの見積りや電気代比較の計算も無料で行っています。今後も、法人リースを含め、官公庁、学校、法人といった顧客の新規開拓に注力します。



### 新商圈に、相次いで新規出店



NEW宇品店



NEW松山店

愛媛県下で初店舗となる『NEW松山店』（松山市）を8月に、また広島県下で初店舗となる『NEW宇品店』（広島市）を10月にオープンしました。それぞれ売場面積・約3,500㎡の大型店舗で、一般家電から情報家電まで約10,000品目と、幅広く商品を取り揃えています。DVD、CD、ゲームソフトなどを豊富に扱う「コジマソフト」も、同時オープンしました。

### コジマクラブお客様カード「失効ポイント復活キャンペーン」

昨年6月に発行を開始した「コジマクラブお客様カード」は、現在600万人を超えるお客様にご加入いただいています。エアコンやテレビ、パソコンなどの長期保証といった付帯サービスをはじめ、購入履歴が掌握できるために消耗品の型番がすぐに確認できるなど利便性が高い上、さらに1%還元のポイント機能がついています。最終お買い上げ日より1年を経過してご利用がなかった場合、ポイントは失効となりますが、8月現在、当社のポイント利用率は約50%です。中間決算特別企画として、期限切れになったポイントを、期間を延長して9月末日まで使用できる「失効ポイント復活キャンペーン」を実施いたしました。

**決算特別企画** **失効ポイント完全復活キャンペーン** 実施中

すでに失効している全てのポイントを  
9月30日までご利用頂くことができます。

通常、最終お買い上げ日より1年を経過した場合、ポイントは失効となります。

**ポイントが積極的にご利用下さい!**  
現在コジマのポイント利用率は約50%です。

入会金・年会費無料  
▲クレジットカードではありません。

# 会社概要

## 会社概要(平成16年9月30日現在)

商号	株式会社コジマ Kojima Co., Ltd.
本社	〒320-8528 栃木県宇都宮市星が丘2丁目1番8号
電話番号	(028) 821-0001(大代表)
ホームページ	<a href="http://www.kojima.net">http://www.kojima.net</a>
創業	昭和30年4月
設立	昭和38年8月
代表取締役社長	小島 章利
資本金	189億1,464万円
従業員数	5,322名
取引銀行	足利銀行、みずほ銀行、三井住友銀行 UFJ銀行、栃木銀行、りそな銀行 群馬銀行、常陽銀行、第四銀行 東邦銀行、殖産銀行、秋田銀行 大東銀行、住友信託銀行、みずほ信託銀行 (平成16年9月30日現在)

## 取締役および監査役(平成16年9月30日現在)

代表取締役社長	小島章利
取締役副社長	大垣悦男
取締役兼専務執行役員 業務支援担当	石川英男
取締役兼専務執行役員 人事部	加藤孝幸
取締役兼専務執行役員 総務本部長	森 真貴
取締役兼専務執行役員 営業本部長	佐藤元彦
取締役兼常務執行役員 店舗開発本部長	高山岩雄
取締役兼常務執行役員 営業本部副部長兼北関東営業部長	佐藤公昭
取締役兼常務執行役員 経営企画室長	寺崎悦男
取締役兼常務執行役員 商品本部長兼AVC統括	山元栄三
常勤監査役	秋元孝則
監査役	仲山 茂
監査役	平山孝一

## 株主メモ

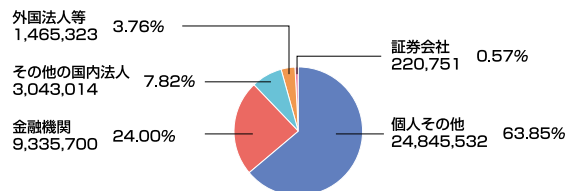
(1)決算期	毎年3月31日
(2)基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときは、あらかじめ 公告いたします。)
(3)利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、9月30日現 在の株主に対し、お支払いいたします。)
(4)定時株主総会	毎年6月
(5)1単元の株式の数	100株
(6)名義書換代理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物の送付先 お問い合わせ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-5213-5213(代表)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
(7)公告掲載紙	日本経済新聞
(8)決算公告の ホームページのご案内	当社の決算公告は日本経済新聞による決算公告に代えて貸借 対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載してお りますので、ご案内いたします。 当社の決算公告が掲載されているホームページアドレスは次 のとおりです。 <a href="http://www.kojima.net/kessan.html">http://www.kojima.net/kessan.html</a>
(9)株主優待制度	毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主に対し、以下 の要領にて、「株主ご優待券」を贈呈いたします。  贈呈基準 所有株式数 贈呈枚数 100株以上 500円券×2枚 500株以上 500円券×6枚 1,000株以上 500円券×10枚 3,000株以上 500円券×30枚 5,000株以上 500円券×40枚  利用方法 5,000円以上のお買上(数量限定品を除く)につき5,000円毎 に1枚をご利用いただけます。  有効期限 翌年6月30日まで有効  取扱店舗 当社全店舗および通信販売での購入にご利用いただけます。



## 株式の情報（平成16年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数	97,200,000株
発行済み株式の総数	38,910,320株
1単元の株式数	100株
自己株式数	294株
株主総数	18,369名

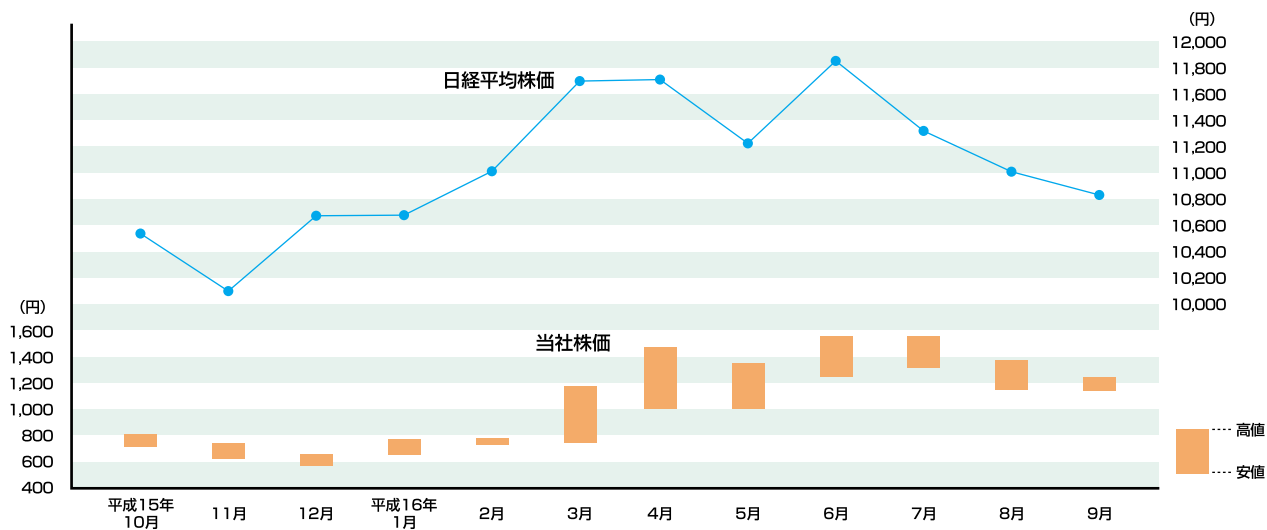
## 所有者別株式分布状況



## 大株主（上位10名）

順位	大株主	所有株式数(株)	議決権比率(%)
1	小島 勝平	2,502,100	6.43
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,423,900	6.23
3	有限会社ケーケーワイ	2,030,400	5.22
4	小島 金平	1,935,456	4.97
5	小島 三子	1,932,000	4.96
6	小島 由三	1,800,000	4.62
7	小島 純子	1,700,000	4.37
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,217,500	3.13
9	株式会社足利銀行	1,171,800	3.01
10	小島 章利	1,170,036	3.00

## 株価の推移（東京証券取引所）



## 店舗一覧(平成16年9月30日)

<b>北海道</b>	米沢店	NEW駒生店	幸手店	昭島店	NEW幌ヶ谷店	NEW東浜松店	NEW高槻店	NEW福岡西店
札幌本店	酒田店	真岡店	春日店	上板橋店	NEW横須賀店	NEW静岡有明店	NEW大東店	NEW小倉東インター店
篠路店	鶴岡店	北店	東所沢店	多摩店	NEW相模原店	NEW沼津店		
澄川店	天童店	氏家店	緑町店	小平店	NEW座間店		<b>兵庫県</b>	<b>佐賀県</b>
函館店		大田原店	志木店	高島平店		<b>愛知県</b>	NEW垂水店	NEW鳥栖店
白石本通店	<b>福島県</b>	鹿沼店	NEW和光店	NEW豊玉店	<b>新潟県</b>	NEW熱田店	NEW名古屋店	
平岡店	いわき店	NEW足利店	南越谷店	NEW東久留米店	燕三条店	NEW豊橋店	NEW大開店	<b>長崎県</b>
五稜郭東	会津若松店	NEW南小山店	NEW大宮店	NEW江戸川店	上越店	NEW小牧店	NEW長田店	NEW長崎店
NEW手稲店	福島店	NEW東店	NEW所沢西店	NEW八王子店	長岡店	NEW岡崎店	NEW手柄店	
	小名浜店	NEW栃木店	NEW川口店	NEW東大和店	NEW新潟店	NEW瀬戸店	NEW鳴尾店	<b>熊本県</b>
<b>青森県</b>	方木田店	NEW宇都宮南店	NEW久喜	NEW井草店		NEW日進店	NEW御影東明店	NEW熊本店
弘前東店	NEW白河店	コジマ薬品星が丘店	NEW上福岡店	NEW用賀店	<b>山梨県</b>	NEW一宮店	NEW芦屋西宮店	NEW熊本インター店
八戸店	NEW郡山店	コジマ薬品みどり野店	NEW与野店	NEW府中店	NEW甲府	NEW有松インター店	NEW南武庫之荘店	
NEW青森			NEW坂戸店	NEW若林店		NEW清瀬東インター店		<b>大分県</b>
	<b>茨城県</b>	<b>群馬県</b>	NEW浦和店	NEW志村店	<b>石川県</b>		<b>奈良県</b>	NEW大分店
<b>岩手県</b>	古河店	太田店	NEW鳩ヶ谷店	NEW町屋店	金沢駅西店	<b>三重県</b>	NEW香芝店	
盛岡店	水戸店	藤岡店	NEW越谷店	NEW加平店	西泉店	NEW四日市店	NEW奈良店	<b>鹿児島県</b>
花巻店	石岡店	NEW高崎店		NEW西新井店				NEW谷山店
西仙北店	勝田店	NEW日吉店	<b>千葉県</b>	NEW新小岩店	<b>福井県</b>	<b>京都市</b>	<b>和歌山県</b>	NEW与次郎店
	土浦店	NEW前橋大友店	我孫子店	NEW三鷹店	NEW福井店	NEW伏見店	NEW野崎店	
<b>宮城県</b>	牛久店	NEW館林	野田店		<b>富山県</b>	NEW桂大橋店	<b>岡山県</b>	
仙台店	守谷店	NEW大泉	木更津店	<b>神奈川県</b>	富山店	NEW高野店	NEW倉敷店	
NEW多賀城店	学園都市店		佐倉店	平塚北店	NEW西富山店	<b>大阪府</b>	NEW岡山店	
名取店	NEW水戸インター店	<b>埼玉県</b>	成田店	橋本店		NEW門真店		<b>香川県</b>
石巻西店	NEW下館店	春日部店	NEW花見川店	港北インター店	<b>長野県</b>	NEW和泉店	NEW高松店	
愛宕橋店		岩槻店	NEW千葉中央店	横浜店	NEW長野店	NEW緑地公園店		
古川店	<b>栃木県</b>	東松山店	NEW幕張インター店	伊勢原店	NEW新杉田店	NEW松原店		<b>愛媛県</b>
NEW泉中央店	栗北店	深谷店	NEW君津店	NEW新杉田店	NEW松本	NEW箕面店	NEW新松山店	
	NEW上三川店	川越インター店	NEWユーカリが丘店	NEW青葉台店	<b>岐阜県</b>	NEW茨木店		
<b>秋田県</b>	佐野店	狭路店	NEW柏店	NEW厚木栄町店	NEW西岐阜店	NEW東大阪店		
卸団地店	鳥山店	加須店	NEW松戸店	NEW藤沢店	NEW岐阜バス店	NEW堺店	<b>福岡県</b>	
土崎店	今市店	鴻巣店	NEW船橋	NEW小田原店		NEW堺店	NEW福岡空港店	
広面店	黒磯店	NEW深作店		NEW海老名店	<b>静岡県</b>	NEW生野店	NEW福岡春日店	
	矢板店	指扇店	<b>東京都</b>	NEW平間店	NEW静岡店	NEW旭店	NEW八幡店	
<b>山形県</b>	光陽台店	蓮田店	足立店	NEW川崎店	NEW静岡店	NEW関西空港店	NEW福岡春日店	
山形店	小山北店	上尾店	青梅店	NEW横浜日吉店	NEW浜松店	NEWあべの店	NEW野間大池店	

## 平成16年4月から平成17年3月までの新規店舗開店予定

上期にはNEW松山店(愛媛県)、NEW座間店(神奈川県)の計2店舗を出店、また下期には11店舗と、通期計13店舗の出店を計画しております。



本社: 〒320-8528 宇都宮市星が丘2丁目1番8号 TEL.028-621-0001(大代表) FAX.028-621-0002